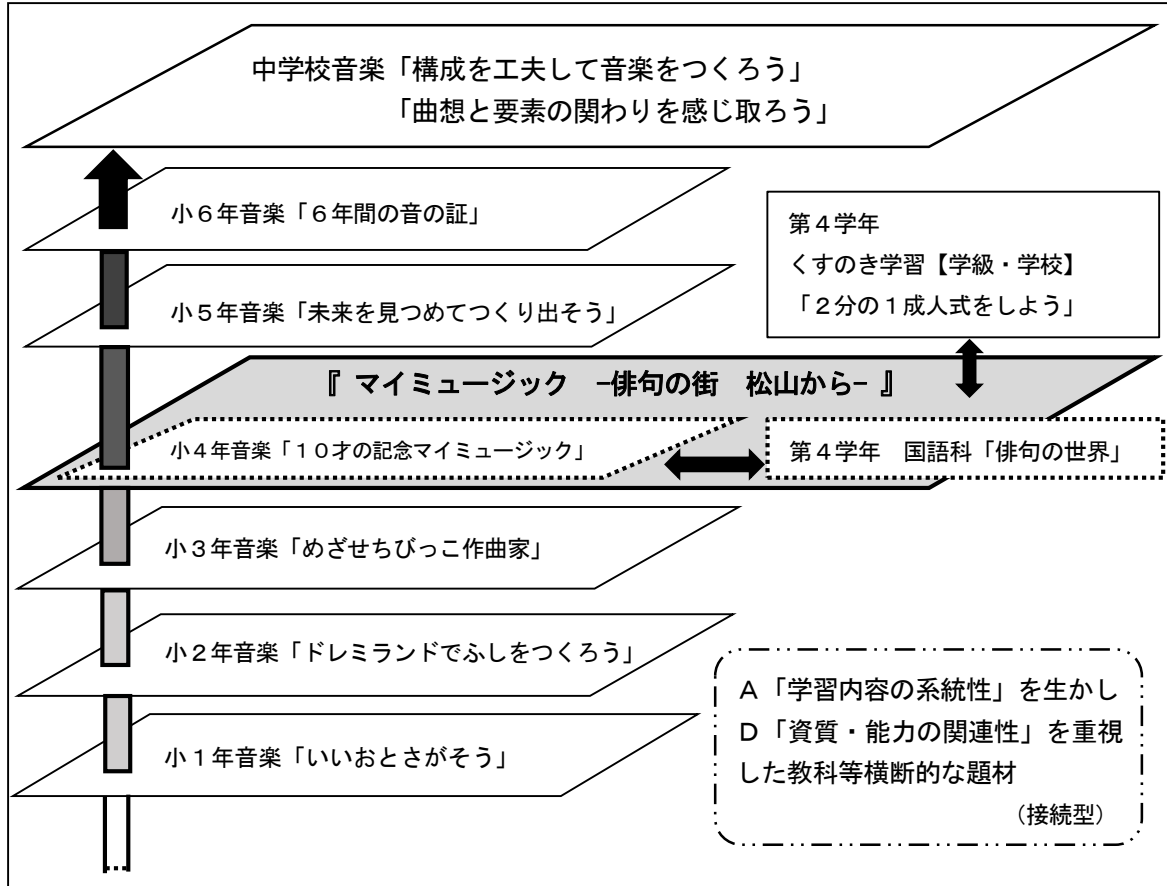


第4学年月組 音楽科（+国語科・くすのき学習【学級・学校】）

「マイミュージック -俳句の街 松山から-」

指導者 松井 見磨

1 題材全体構想図



2 題材構想について

本題材は、音楽づくりを視点とするA「学習内容の系統性」を生かし、D「資質・能力の関連性」を重視した題材構想である。くすのき学習を発表の場として学びの空間を広げることで、音楽科での学びが更に深まったり広がったりすることが期待できる。

本学級の子どもは、音楽を心から楽しみながら思い切った表現ができる。前題材「みんなでつくろうクラスの音楽」では、初めての校内音楽会に向けて、一人一人が主体的に仲間と奏でるハーモニーを味わいながら、クラスで二部合唱に挑戦した。その過程では、心を合わせて歌う喜びを感じるだけでなく、言葉や旋律から感じ取ったことや想像したことを伝え合ったり、それを生かした豊かな音楽表現を求めたりする姿も多く見られた。また、歌詞の内容も曲想を生み出す大切な要素だと気付くことができるようになってきた。音楽づくりにおいては、中学校までの9年間を見通した系統性のある題材を構想し、低学年から常時活動の充実を図ってきており、音楽の仕組みを用いてそうぞうする力が徐々に積み上がってきている。

ここでは、10歳を記念した自作の俳句を基に、音楽づくりに挑戦する。今までの音楽の捉え方を見詰め直すとともに、限られた言葉の中から場面や情景、心の動きなどを想像しながら音楽をつくっていく。音楽づくりの発想を生かしながら、言葉の響きやリズム、抑揚に合わせた旋律をつくり、俳句に込めたイメージに合うまとまりのある音楽を目指す。また、音楽の仕組みを手掛かりに試行錯誤しながら、つくりたい音楽のイメージを深めて表現を高めるために、互いのよさなどを聴

き合い共有できるような、仲間とかかわる場面や時間を十分に保障する。様々な発想を得たり広げたりしながら、自分にとって価値のある音楽をそうぞうしていく過程を大切に進めていきたい。

### 3 題材のねらい

- 音楽を特徴付けている要素の働きを考えて、自分のイメージに合った音楽づくりに前向きに取り組もうとしている。
- リズムやフレーズの反復や変化などを楽しみ、思いや意図をもって表現しようとする。
- 仲間の表現のよさや工夫を聴き味わい、発想を生かした表現やまとまりのある音楽をそうぞうしようとする。

### 4 題材の指導計画（全15時間）

場面	子どもの課題意識と主な学習活動	評価の規準	時間
出 合 い	<p>五七五のリズムを楽しもう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌詞の内容を感じ取って歌う。</li> <li>○ 言葉の抑揚や調の色合いを感じ取って、即興演奏を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 言葉のリズムや繰り返される旋律を意識して表現している。</li> <li>● 反復や調性の変化によって生み出される音楽のよさや面白さを感じている。</li> </ul>	3
追 究	<p>俳句を音楽で伝えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 俳句に合う音階や調を考える。</li> <li>○ 言葉と旋律の流れを考えて、音楽づくりに挑戦する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● どのように音楽をつくっていくか自分がつくりたい音楽のイメージをしっかり持って主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	10 本時 その2
振 り 返 り	<p>「2分の1成人式」で発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分らしい表現ができる発表方法を考えたり、楽器を選んだりする。</li> <li>○ 互いの演奏を聴き合う。</li> <li>○ 学習を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仲間の表現の良さや工夫に気付いて聴いたり参考にしたりしている。</li> <li>● 自分の新しい考えを持って音楽づくりを楽しみ、自分の音楽を伝えようとしている。</li> </ul>	2

### 5 題材における指導と評価の工夫

場面	三つの場面ごとの指導と評価の工夫
出 合 い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アドリブ（即興演奏）を導入に取り入れることで、楽譜に苦手意識がある子どもも意欲的に取り組みやすくする。</li> <li>・ 身近な言葉に音やリズムをつけることを行い、日本語の抑揚を生かした旋律づくりの発想力を高めながら、音楽づくりへの自信や期待感を高める。</li> </ul>
追 究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「つくってみよう」という発想や「つくりたい」という思いを「つくれる！」という自信にさせるために、互いのよさなどを聴き合い共有できるような、仲間とのかかわる場面を設定する。</li> <li>・ 音楽を形づくっている要素や音楽の仕組みを手がかりに、自分にとって価値のある音楽をそうぞうしている過程を大切に見取る。</li> </ul>
振 り 返 り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達や自らの表現のよさに気付いたり、認めたりすることができる聴き合う場を設定して、互いの価値を尊重したり、自分なりに価値付けたことを見詰め直したりすることにつながる。</li> </ul>

6 本時の授業（5 / 15）

- (1) 日時 平成31年2月1日（金）9:30～10:15
- (2) 場所 第2音楽室
- (3) ねらい 俳句の情景や込めた思いを想像しながら、反復や変化を生かしたまとまりのある音楽をつくる楽しさを味わう。
- (4) 準備物 音楽ノート、ホワイトボード
- (5) 展開

学習活動	予想される子どもの意識の流れ	指導（○）と評価（●）
1 既習曲を歌う。 「春や昔」	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">歌詞を味わいながら歌おう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声を響かせてしっかり歌おう。</li> <li>・音程が上がる所はエネルギーがいるな。</li> <li>・反復はどうやって歌おうかな。</li> <li>・音の動きを感じると自然に強弱がつくよ。</li> </ul>	○ 反復や変化を意識して歌いながら、自信をもって表現できる雰囲気を作る。
2 互いの旋律を聴き合う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">みんなの俳句ミュージックをきいてみよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・俳句にピッタリの旋律ができたよ。</li> <li>・みんなの旋律も聴いてみたいな。</li> <li>・上五を反復しているね。</li> <li>・調によって雰囲気が全然違うね。</li> </ul>	○ タブレットPCを活用しながら、演奏や記譜に関する技能の支援をする。
3 よさや工夫点を全体で共有する。  <div style="text-align: center;">↑ ↓</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">俳句に込めたイメージをもっと伝えたいな。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉と音がうまくつながっているね。</li> <li>・フレーズのつなげ方が工夫されているよ。</li> <li>・もっと○○な感じを音で伝えたいな。</li> <li>・なるほど！私も試してみたいな。</li> </ul>	● 俳句に込めたイメージを表す音楽に進んでかかわり、聴き味わおうとしているか。 <div style="text-align: right;">[様態・演奏]</div>
4 新たな考えを自分の曲に生かす。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">工夫点や改善点を生かしてみよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・反復を使うとまとまる感じがするよ。</li> <li>・リズムを少し変化させてみよう。</li> <li>・重ねてみたらどうなるかな。</li> <li>・少し言葉を変えてみたらどうなるかな。</li> <li>・友達のアドバイスでよくなったよ。</li> </ul>	○ 旋律の終わり方やフレーズのつなげ方の工夫を取り上げ、よさを全体で共有する。  ● 発想を生かしたまとまりのある音楽づくりを楽しんでいるか。
5 本時を振り返る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">完成に向けてイメージを広げよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっとよくしていきたいな。</li> <li>・本番は歌と楽器で演奏してみたいな。</li> <li>・成長の証が伝わる発表にしたいな。</li> <li>・聴いてもらうのが楽しみだな。</li> </ul>	<div style="text-align: right;">[発表・演奏・観察]</div> ○ 本時を振り返りながら、自分の音楽づくりに向けてイメージを膨らませる。

## 7 評価の具体的な方法

	〈自己効力感〉が高まっている姿を見取る視点	目指す姿 [主な評価方法]
出 合 い	○ 身近な言葉に音やリズムをつけるアドリブに挑戦することで、これまで積み重ねてきた音楽づくりの経験を思い出し、これから始まる新たな音楽づくりへ期待感を感じているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語の抑揚を生かした旋律づくりの発想力を高めながら、課題を前向きに受け止めて、自分なりに頑張ろうとしている。</li> </ul> <p>（ ・やってみたいな！ ・面白そう！          ・わくわくするね！ ・挑戦しよう！          ・この調で旋律をつくりたいな。          ・つなげてみたらどうなるかな。 等 ）</p> <p>[様態・対話・発表]</p>
追 究	○ 仲間と協働して音楽づくりをする楽しさを味わったりよさを見付け合ったりしながら活動しているか。  ○ 音楽を形づくっている要素や音楽の仕組みを手掛かりとして表現に迫ろうとしているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間の音楽にも興味を持ち、見付けたり共感したことを取り入れたりしようとしている。</li> </ul> <p>（ ・みんなはどんな工夫をしたのかな。          ・私の音楽にも取り入れてみたいな。          ・そんなやり方もあるんだね！          ・聴いてもらってアドバイス欲しいな。 等 ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思いやイメージを十分に持って、試行錯誤しながら、自分にとって価値のある音楽をそうぞうしていく過程を楽しんでいる。</li> </ul> <p>（ ・言葉の響きを生かした変化を入れたいな。          ・音を反復すると強調されたよ。          ・俳句のイメージがより伝わるね。          ・もっと〇〇な感じを音で伝えたいな。 等 ）</p> <p>[発表・表情・様態・録音]</p>
振 り 返 り	○ 2分の1成人式に向けて音楽をつくったことで、達成感や満足感を感じているか。  ○ そうぞうした新たな音楽を見詰めることで、更なる発展性を見いだしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達や自らの表現のよさに気付いたり、認めたりしようとしている。</li> </ul> <p>（ ・思いが伝わる音楽だね。          ・みんなに聴いてもらえてよかったな！          ・自分らしい俳句音楽が完成したよ。          ・同じ言葉でも伝わり方が違うね。 等 ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今回の学びを通して、もっとこんなこともやってみたいと思っている。</li> </ul> <p>（ ・また音楽づくりをやってみたいな。          ・もっと長い曲をつくりたいな。          ・たくさんの人に聴いてもらいたいな。 等 ）</p> <p>[発表・対話・様態・録画記録]</p>